

せんだん通信をご覧の皆さま、初めまして。昨年の10月から企画調整課に配属されました橋田と申します。皆さまは、企画調整課がどのような仕事をしているのかイメージできるでしょうか。企画調整課がどのような役割、業務を行っているのか、また課内での取組などを紹介させていただきます。

1. 企画調整課の所掌業務

- き 局内における行政事務が円滑に運営できるように厚生局の所掌事務に関する総合的な企画、立案並びに調整などの業務を行っています。組織は総務部門に属しており、総務課と共に厚生局の下支えとしての役割を担っています。
- か 確実かつ適切な業務を行うため、また未然に事務処理誤りなどを防止するための取組みとして、全職員に対して、定期的に啓発や注意喚起を行っています。
- く 国の出先機関として、制度や施策等に対する寄せられた「国民の皆様の声」を取りまとめ、厚生労働省に報告しています。また、ホームページを通じて寄せられたご意見・ご質問等の取りまとめを行っており、地域の皆さまと厚生局を結ぶ役割を担っています。
- ち 中国地方社会保険医療協議会総会の庶務を担当しています。総会では、保険医療機関及び保険薬局の指定の取消し並びに保険医及び保険薬剤師の登録の取消し等について審議を行っています。
なお、指導監査課、県事務所が庶務を担当する各県の部会において、保険医療機関又は保険薬局の指定に係る審議を行っています。
- よ より良い行政機関を目指し、質の高い人材の育成や厚生局全体の組織力の強化のための職員研修を企画、実施しています。
- う 受付業務として、公益通報者保護法に基づく公益通報窓口を企画調整課に設置しています。受理した公益通報については、通報に関する秘密を保持し、必要な調査を行い、通報対象事実があると認められる場合には、法令に基づく処分又は勧告等の措置を講じます。
- せ ☆[せんだん通信](#)の編集や発刊、☆[パンフレット](#)の作成、ホームページの運営・管理など、厚生局の広報全般に関する業務を担っています。
- い いつまでに、何を達成するなどを定めた厚生局組織目標の策定及び各課の事業計画等を取りまとめています。なお、組織目標は、重要課題について基本的な方向性と目標について、できる限り定量的な目標を設定しています。

少し強引なところもありますが、「きかくちょうせい」の「あいうえお作文」により業務を紹介してみました。どのような業務を行っているのか、イメージしていただけたでしょうか。

このように、企画調整課では、厚生局内における調整的な役割、研修の実施などを行っている他、地域の皆さまに厚生局の役割などを知っていただくための広報を行っています。

今年度において、平成28年度版パンフレットを作成しました。今号「[☆お知らせコーナー](#)」にて紹介していますので、ぜひご覧ください。



○中国地方社会保険医療協議会総会の様子



○職員研修の様子

2. 企画調整課の体制と取組

企画調整課は3名体制で、少人数ではありますが、その利点を活かし、日々、ミーティングを行っています。ミーティングでは、現在の業務の進捗状況の確認や、今後の業務が確実・円滑に行えるよう、数か月先までのスケジュールや進め方を見据えて、課内で共有するようにしています。なお、当たり前の事ではありますが、報告・連絡・相談（ホウレンソウ）を確実に行うようにしています。

また、近年、重要視されているワークライフバランスの充実にも取り組んでいます。各職員が家族や趣味の時間を設けることができるよう、効率的な業務遂行を推進しています。

3. 私自身が感じること

私は今まで、庶務や医療、年金関係の業務に携わってることが多く、企画や調整が必要な部署に配属された経験が無かったため、局全体で調整が必要な業務や、企画等の文書などを作成する際、どのような調整や内容とすれば良いものができあがるのか考えがまとまらない、簡潔明瞭な文章が浮かんでこないなど、苦慮することが多くあります。しかし、経験豊富で的確かつ斬新なアドバイスをしてくれる課長と、明るく発想力豊かな係員に助けられ、試行錯誤や反省を重ねながら、次はもっと良い業務を、また、誰もが納得できる内容にしようなど、少しずつでも前進していくことができていると実感しています。

厚生局の下支えとなる業務ではありますが、地域の皆さまにとって身近な行政機関になるためにも、企画調整課がその役割をしっかりと果たしていくことは重要であると思っています。そのためにも、自分自身が求められる役割をしっかりと認識し、今後も業務に努めていきたいと思っています。